

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月6日

上場取引所 大

上場会社名 興研株式会社

コード番号 7963 URL <http://www.koken-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 酒井 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 長坂 利明

TEL 03-5276-1911

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,285	5.0	508	4.9	443	△2.2	279	22.9
23年12月期第2四半期	4,081	20.9	484	72.4	453	102.9	227	114.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	55.31	55.07
23年12月期第2四半期	45.02	44.86

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	15,548		8,532			54.8
23年12月期	16,262		8,466			51.7

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 8,517百万円 23年12月期 8,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	35.00	35.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

23年12月期配当の内訳 普通配当25円00銭 特別配当10円00銭

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	△3.1	800	△31.4	730	△34.4	400	△27.7	79.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	5,104,003 株	23年12月期	5,104,003 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	43,565 株	23年12月期	46,565 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	5,058,416 株	23年12月期2Q	5,057,452 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)1ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	1
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
(3) 追加情報	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
5. 補足情報	9
(1) 品目別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成24年1月～6月)におけるわが国経済は、震災の復興需要の高まりを背景として、内需関連の業種を中心に緩やかな回復傾向が見られるものの、欧州債務問題や円高、株安の長期化に加え、夏場の電力供給制約の企業活動への影響や消費税増税の動きもあって、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

そのような状況の中で当社の業績は、震災復興・除染対策用マスクや、オープンクリーンシステム「KOACH」の堅調な動きによって、売上高42億85百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益5億8百万円(同4.9%増)、経常利益4億43百万円(同2.2%減)、四半期純利益2億79百万円(同22.9%増)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

(マスク関連事業)

震災復興・除染対策用マスクの販売では、がれき処理や汚染土壌の除去作業用に加え、官公庁向けの緊急対策用マスクの納入を行いました。その結果、売上高は37億96百万円と対前年同期比3.8%の増収となりました。

(その他事業/環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」については、東京大学宇宙線研究所等への「フローコーチEz」「テーブルコーチ」第1号機納入に続いて、大手電子・電気機器メーカーから「フローコーチEz」を受注するなど、今期に入ってその動きが活発となっています。そして、産業向けプッシュプル型換気装置や官公庁向け浄化装置の販売増も寄与し、売上高は4億88百万円と対前年同期比15.5%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は155億48百万円(前事業年度末162億62百万円)となり7億14百万円減少致しました。その主な要因は、流動資産が売掛金の減少等により7億61百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は70億15百万円(前事業年度末77億96百万円)となり7億80百万円減少致しました。その主な要因は、流動負債が賞与引当金及び未払法人税等の減少等により8億2百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は85億32百万円(前事業年度末84億66百万円)となり66百万円増加し、自己資本比率は54.8%(前事業年度末51.7%)となりました。その主な要因は、利益計上等に伴い、利益剰余金が1億2百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、12億78百万円となり、前事業年度末と比較して2億30百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は8億52百万円(前年同四半期は5億68百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益が4億80百万円となったことと減価償却費2億75百万円、売上債権の減少額9億13百万円、及び法人税等の支払額4億75百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4億36百万円(前年同四半期は1億70百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4億92百万円及び有形固定資産の売却による収入62百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億85百万円(前年同四半期は13億16百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入による収入20億円と、長期借入による収入8億円、短期借入金の返済による支出21億円及び長期借入金の返済による支出6億84百万円等を行ったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の業績は、ほぼ計画通りに推移しております。従いまして通期の業績予想につきましては、平成24年2月6日付「平成23年12月期決算短信」で発表した数値から変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,048,000	1,278,847
受取手形及び売掛金	3,959,058	3,045,716
商品及び製品	399,216	435,387
仕掛品	503,857	515,932
原材料及び貯蔵品	513,487	485,962
繰延税金資産	383,246	259,203
その他	51,734	75,594
貸倒引当金	△4,000	△4,000
流動資産合計	6,854,602	6,092,643
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,344,052	1,463,625
機械及び装置(純額)	784,364	856,296
土地	5,407,133	5,404,228
その他(純額)	673,197	536,363
有形固定資産合計	8,208,747	8,260,514
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	58,342	55,452
繰延税金資産	204,172	192,152
役員に対する保険積立金	821,070	828,343
その他	86,413	90,583
貸倒引当金	△4,000	△4,000
投資その他の資産合計	1,165,998	1,162,532
固定資産合計	9,408,234	9,455,737
資産合計	16,262,836	15,548,381

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	210,903	215,944
短期借入金	2,100,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,244,200	1,264,400
未払金	211,793	174,704
未払法人税等	489,250	67,114
賞与引当金	332,000	181,000
役員賞与引当金	48,800	20,000
その他	405,479	316,699
流動負債合計	5,042,427	4,239,862
固定負債		
長期借入金	2,070,600	2,166,400
役員退職慰労引当金	416,700	430,600
その他	266,754	178,787
固定負債合計	2,754,054	2,775,787
負債合計	7,796,481	7,015,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,265	674,265
資本剰余金	528,693	528,564
利益剰余金	7,255,036	7,357,786
自己株式	△41,901	△39,241
株主資本合計	8,416,093	8,521,375
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,624	△3,484
評価・換算差額等	△1,624	△3,484
新株予約権	51,885	14,840
純資産合計	8,466,354	8,532,731
負債純資産合計	16,262,836	15,548,381

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,081,351	4,285,653
売上原価	2,116,243	2,255,280
売上総利益	1,965,107	2,030,373
販売費及び一般管理費	1,480,383	1,521,964
営業利益	484,724	508,408
営業外収益		
受取利息	74	62
受取配当金	2,078	1,540
受取手数料	4,471	5,689
雑収入	7,655	4,736
営業外収益合計	14,280	12,028
営業外費用		
支払利息	35,548	31,724
支払手数料	—	35,000
雑損失	9,655	10,085
営業外費用合計	45,203	76,810
経常利益	453,800	443,627
特別利益		
新株予約権戻入益	—	38,533
特別利益合計	—	38,533
特別損失		
有形固定資産除却損	1,894	1,307
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,231	—
貸倒引当金繰入額	3,200	—
投資有価証券評価損	33,807	—
特別損失合計	44,134	1,307
税引前四半期純利益	409,666	480,852
法人税、住民税及び事業税	220,000	64,000
法人税等調整額	△38,041	137,092
法人税等合計	181,958	201,092
四半期純利益	227,707	279,760

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	409,666	480,852
減価償却費	269,391	275,184
新株予約権戻入益	—	△38,533
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,231	—
有形固定資産除却損	1,894	1,307
投資有価証券評価損益 (△は益)	33,807	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,500	13,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35,000	△151,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,400	△28,800
受取利息	△74	△62
受取配当金	△2,078	△1,540
支払利息	35,548	31,724
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,000	—
売上債権の増減額 (△は増加)	180,272	913,342
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△484,640	△20,720
仕入債務の増減額 (△は減少)	207,951	5,041
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,218	△18,165
その他	36,066	△104,931
小計	655,920	1,357,600
利息及び配当金の受取額	1,904	1,851
利息の支払額	△34,539	△31,509
法人税等の支払額	△55,251	△475,005
営業活動によるキャッシュ・フロー	568,033	852,937
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△173,544	△492,753
有形固定資産の売却による収入	11,950	62,516
無形固定資産の取得による支出	△593	△1,965
長期前払費用の取得による支出	—	△4,374
貸付金の回収による収入	768	848
貸付けによる支出	—	△1,000
その他	△9,310	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170,730	△436,789
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	2,000,000
短期借入金の返済による支出	△1,100,000	△2,100,000
長期借入れによる収入	500,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△584,000	△684,000
配当金の支払額	△125,692	△176,064
その他	△6,693	△25,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,316,386	△185,300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△919,082	230,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,809,006	1,048,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	889,923	1,278,847

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、防じんマスク、防毒マスク等の製造及び販売を主な事業内容としております。

従って、当社の報告セグメントは「マスク関連事業」としております。

「マスク関連事業」は、防じんマスク、防毒マスク等の労働安全衛生保護具の製造及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,658,262	423,088	4,081,351	—	4,081,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,658,262	423,088	4,081,351	—	4,081,351
セグメント利益又は損失 (△)	1,810,917	154,189	1,965,107	△1,480,383	484,724

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,480,383千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、防じんマスク、防毒マスク等の製造及び販売を主な事業内容としております。

従って、当社の報告セグメントは「マスク関連事業」としております。

「マスク関連事業」は、防じんマスク、防毒マスク等の労働安全衛生保護具の製造及び販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,796,831	488,822	4,285,653	—	4,285,653
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,796,831	488,822	4,285,653	—	4,285,653
セグメント利益又は損失 (△)	1,778,517	251,855	2,030,373	△1,521,964	508,408

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,521,964千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 品目別売上高

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)		比較増減 (△は減) 金額 (千円)
	金額 (千円)	比率 (%)	金額 (千円)	比率 (%)	
防じんマスク	2,146,769	52.6	2,102,859	49.1	△43,910
防毒マスク	976,840	23.9	1,195,628	27.9	218,788
防じん・防毒マスク 関連その他製品	534,653	13.1	498,343	11.6	△36,309
小計	3,658,262	89.6	3,796,831	88.6	138,568
その他	423,088	10.4	488,822	11.4	65,733
合計	4,081,351	100.0	4,285,653	100.0	204,302
(上記のうち輸出分)	(136,402)	(3.3)	(124,330)	(2.9)	(△12,072)